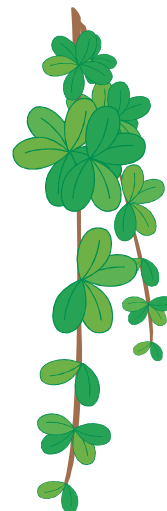


6月の緑化 ワンポイントアドバイス



アジサイの挿し木

挿し木は、春に萌芽して、新梢が充実してきた梅雨の時期が適期となります。切戻した枝は1～2枚の葉をつけた挿し穂に調整し、1時間程度水につけておきます。

用土は、挿し木用培養土のほか、パーライト、バーミキュライト、鹿泥土などの細粒を uses。風当たりの少ないやや日陰の場所で、発芽を持ち管理します。挿し木の直前に、発芽促進剤（ルートンまたはオキシベロン粉剤）を切り口に付着させると効果的です。

※害虫対策として



ナメクジ

被害状況…日中は鉢底や落ち葉の下などの湿った場所に隠れて、夜になると花卉や新芽、果実を食害します。

対策…ナメクジは乾燥に弱いので、じめじめした管理にしないこと、夕方以降に水やりをしないことも大切です。発見したら、誘引殺虫剤（ナメキール、ナメキットなど）を植物の周辺に、ばらまいておくとういでしょう。



アブラムシ

被害状況…新芽や葉に2～3mmくらいの虫が群がって、養分を吸汁します。ウイルスを媒介して、病気を広げます。

対策…根本周りに、粒剤（オルトラン粒剤、ベストガード粒剤など）を株元に散布します。大発生したら、殺虫剤を噴霧器で散布します。



アオムシ・ケムシ

被害状況…葉を食害し、放置しておくと葉脈だけを残して葉を食べ尽くします。鉢や植物の周辺に糞を見つけたら要注意です。

対策…アオムシは数が少ない場合は捕殺するとよいでしょう。多い場合、殺虫剤を散布します。ケムシの発生初期は1枚の葉に群棲するので見つけ次第、葉をちぎると効果的です。すでに拡がってしまった場合、庭木ではカルホス乳剤、ディプテレックス乳剤などの薬剤が効果的です。



うどんこ病・灰色かび病など

被害状況…梅雨期には、おもに葉にうどんこ病、花びらに灰色かび病などが発生しやすくなります。

花がらと、枯葉は早く取り除くこと、病害を防除するには殺菌剤トップジンM水和剤などを噴霧器で散布してやりましょう。

わからないこと、詳しく知りたいことがありましたら、

緑の相談所の樹木医までお気軽にご相談ください。